

基本目標	こころ豊かに夢をはぐくむまちづくり【教育・文化】
施策名	文化・芸術
<p>蒲郡独自の文化・芸術活動を守り育てていくために、市民との協働による文化講演事業の充実、市民団体の自主的な活動の支援、郷土の伝統文化や伝統産業の保存・活用、文化施設・設備の計画的な改修などの取組を推進します。</p>	
<p>施策が目指す蒲郡市の将来の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化・芸術活動が日常に溶け込んでいます。 ●郷土の歴史や文化、産業を学び、蒲郡に誇りを持つ市民が増えています。 	

◆具体化した施策の取り組み実績

1 市民参加型・共催型の文化公演の実施

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
文化公演事業	愛知県立芸術大学管弦楽団特別演奏会 362人	—	市制60周年記念事業 ミュージカル「葉っぱのフレディー」 1,000人
	宝くじふるさとワクワク劇場 801人		市制60周年記念事業 夢応援プロジェクト 500人
指定管理者による自主事業	市民会館まつり 4,150人	市民会館まつり 4,300人	市民会館まつり他 (予) 5,000人
	クリスマスジャズライブ 205人	クリスマスジャズライブ 239人	クリスマスジャズライブ (予) 250人
図書館文学講座(図書館学びの講座)	講演:植物の生きざまを見る 講師:いがりまさし 83人	講演:はじめての川柳 講師:鈴木順子 70人	講演:昭和なるほど講座 講師:佐藤 力 80人

2 郷土の伝統文化の保存と活用

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
コミュニティー活動事業	東小江常会チャラポコ太鼓継承	形原1区町内会七福神踊継承等	西町町内会祭礼用山車修繕
文化財保護事業	三谷祭等保存振興に伴う補助	三谷祭等保存振興に伴う補助	三谷祭等保存振興に伴う補助

3 文化財の活用と市民団体との連携

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
史跡天然記念物整備事業	第7次上ノ郷城跡発掘調査	門前遺跡確認調査	今後の検討
上ノ郷城跡を愛する会	観月会(台風により中止)	観月会・ 親子ウォーキング(雨天中止)	観月会・歴史ウォーキング
清田の大クス愛好会	土壌改良	土壌改良	土壌改良

4 文化施設の充実と改修計画の策定

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
市民会館修繕及び工事	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修工事 ・蓄電池直流電源設備更新工事 ・館内親子時計取替工事 ・ボイラー更新工事 ・スタジオ他改修工事 ・会議室2空調機取替工事 ・大会議室遮光カーテン取替工事 ・スタジオカーテン工事 ・車庫横倉庫シャッター取替等修繕ほか修繕6件 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水工事 ・大・中ホールホリゾン幕等取替工事 ・東ホール遮光カーテン取替工事 ・消防進入口扉取替工事 ・消防設備改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・粉末消火設備用直流電源装置等更新工事 ・東ホール天井雨漏防止工事 ・地下コントロール室操作盤更新工事
	事業費 8,485千円	事業費 76,812千円	事業費 29,500千円
市民会館の改修計画の策定	公共施設見直し検討委員会立ち上げ	教育施設整備事業基金活用検討会立ち上げ	
図書館蔵書・資料の充実	年度末 280,888冊	年度末 282,280冊	年度末 280,000冊見込
図書館整備計画の策定	公共施設見直し検討委員会立ち上げ	教育施設整備事業基金活用検討会立ち上げ	

◆評価指標

指標名	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	将来目標
市民参加型・共催型の文化公演参加率	目標値		80%	80%	90%
	実績値	52%	89%		平成32年度
郷土の伝統文化の保存と活用経費	目標値		3,600千円	3,600千円	3,500千円
	実績値	3,151千円	3,077千円		平成32年度
文化財保護費と市民団体との連携経費	目標値		1,642千円	2,177千円	3,500千円
	実績値	2,223千円	1,461千円		平成32年度
図書館蔵書・資料数対前年度比	目標値	98.0%	99.0%	99.0%	100.0%
	実績値	100.2%	100.5%		平成32年度
図書館文学講座参加率	目標値	75%	75%	75%	80%
	実績値	83%	70%		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
市民参加型・共催型の文化公演参加率	定員に対する参加者割合。講座の人気度を測る。
郷土の伝統文化の保存と活用経費	当該年度の文化財保護事業費補助金。
文化財保護費と市民団体との連携経費	当該年度の文化財保護事業費(補助金を除く)。
図書館蔵書・資料数対前年度比	前年度に対する蔵書・資料数の割合。安定した数の蔵書・資料の確保ができているかどうかを検証。
図書館文学講座参加率	定員に対する参加者割合。講座の人気度を測る。

◆指標の分析

<p>・「市民参加型・共催型の文化公演参加率」－文化公演事業については、民間主導で実施するべきとの考えから、その一つとして、平成22年度より指定管理者による自主事業を行ってきた。この3年間において、利用者の声を聞く等しながら内容を充実させつつあり、少しずつではあるが数字に表れ始めている。</p> <p>・「郷土の伝統文化の保存と活用」－伝統文化の保存については、補助金交付申請に対し、市予算および助成金をもって対応し、一定の水準を保つことができている。活用については、「愛知県民俗芸能緊急調査詳細調査」が行われ、市域においては「三谷祭」が取り上げられた。</p> <p>・「文化財の活用と市民団体との連携」－観月会は地元の協力を得て、堅実に回数を重ね、恒例行事となってきた。史跡天然記念物整備事業については、市広報で不要な「すだれ・よしず」の提供を呼びかけ、それらを活用して大クスの土壌改良事業を行った。</p> <p>・「図書館文学講座(図書館学びの講座)参加率」－講座日程については、事前に市の他イベントのスケジュールを十分情報収集した設定に心がけ、个性的かつユニークな講師人選を行うことで、講座の人気度を高める。</p> <p>・「図書館蔵書・資料数対前年度比」－図書館蔵書・資料数という量的な部分については対応できているが、質的な部分については、数値で把握することが困難である。利用者アンケート結果を参考にした蔵書・資料購入を心がけるとともに、公共図書館としての役割を果たすために全ジャンルに渡るバランスの取れた蔵書・資料購入に留意する。</p>
--

◆今後の方針

施策の課題

- ・「市民参加型・共催型の文化公演の実施」－平成22年度より市民会館の指定管理者による自主事業を行ってきた。現在、自主事業の費用は指定管理料の余剰金を当てている状態であるため、年度によって自主事業内容や実施事業数に差ができる。
- ・「郷土の伝統文化の保存と活用」－市指定文化財である三谷祭山車の車輪のひび割れについて、今回はちぎり(楔)を入れることで対応できたが、大きなヒビや磨耗により新調が必要となった場合、原材料の入手困難や価格高騰等が懸念される。
- ・「文化財の活用と市民団体との連携」－第7次調査まで行われた上ノ郷城跡について、今後どのように保存・活用を図るか検討を要する。
- ・「市民会館の修繕・工事費」－市民会館については大規模な改修が必要となり、多額の予算措置を伴うため、文化スポーツ課が単独で改修計画を策定することは出来ない。
- ・「図書館文学講座参加率」－講座日程については、事前に市の他イベントのスケジュールを十分情報収集した設定に心がけ、个性的かつユニークな講師人選を行うことで、講座の人気度を高める。
- ・「図書館蔵書・資料数対前年度比」－図書館蔵書・資料数という量的な部分については対応できているが、質的な部分については、数値で把握することが困難である。利用者アンケート結果を参考にした蔵書・資料購入を心がけるとともに、公共図書館としての役割を果たすために全ジャンルに渡るバランスの取れた蔵書・資料購入に留意する。

今後の施策展開

- ・「市民参加型・共催型の文化公演の実施」－市民会館指定管理者や文化協会と連携を図る。現在、市費単独での文化公演事業の実施は考えていないが、他財団や国の助成事業の公募に応募し対応する。
- ・「郷土の伝統文化の保存と活用」－文化財の指定を受けていない伝統芸能等については、国・財団等の助成事業を活用していく。
- ・「文化財の活用と市民団体との連携」－イベント等を通じて市民団体同士の連携も図られてきているので、一層の協力をあおぎながら、文化財の保護・活用を進めていく。
- ・「文化施設の充実と改修計画の策定」－市民会館、市民体育センター、図書館、公民館、公園グラウンドなどの文化施設や体育施設は、多額の改修費を必要とするため、市全体の蒲郡市公共施設見直し検討委員会で整備計画を決定していく。現状は、補修工事や修繕料で対応していく。今後の具体的な整備計画を検討していくため、教育施設整備事業基金活用検討会により今後の改修、整備の方針を議論していく。
- ・安定した図書館運営のため、次回指定管理者公募では指定管理期間の3年度から5年度間への延長を提案する予定である。

課長評価 (文化スポーツ課)	構成事業の 進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	市民会館を始めとする文化施設は老朽化が進んでいるため、市民が快適に利用できるよう施設の改修・整備が必要であり、平成25年度に立ち上がった教育施設整備事業基金活用検討会において早期の整備計画の構築が望まれる。 文化公演事業は行革委員会でも指摘があったとおり、民間主導での開催を目指し、市民会館の指定管理者・文化協会等との連携を図っていく方針である。また、公募のある公演事業については、市が関わるべきと判断した場合は積極的に動いていくが、定期的ではないため詳細な予定を立てることは難しい。
課長評価 (博物館)	構成事業の 進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	A: 現状のままでよい。
	コメント	郷土の伝統文化については、伝統文化の基本心情を大切に考え、厳しい予算執行の中ではあるものの一定の成果を上げている。文化財の活用と市民団体との連携については、文化財保護を第一に考え、市民団体と協力を深めつつ共に活動して、その活用に努めている。
課長評価 (庶務課)	構成事業の 進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	図書館は、市民のニーズが高い施設であり、その整備についても期待が大きいものと思われる。そのことも踏まえながら、今後、教育施設整備事業基金活用検討委員会の中で優先順位の検討をしていきたい。
部長評価	施策の 進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	文化・芸術は市民から醸成されるものであり、行政が担うべきものは、活動や発表の機会や場所を提供し、市民または市民団体の活動が活発に行えるように協力、調整などを行うことであり、この点については一定の成果があがっている。しかし、施設の面では、市民会館、図書館を始めすべての施設において老朽化が進み、大きな課題となっている。公共施設見直し検討委員会、教育施設整備事業基金活用検討会での検討を早急に進める必要がある。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費(千円)	人工	総合評価	事業の 種別	市長 マニフェスト	実施 計画
5-3	情報NC	42	科学館展示事業	9,870	9,475	2.30	B	カ	2	○
5-3	情報NC	43	科学館教育普及事業	9,937	12,950	3.30	A	カ	2	×
5-3	情報NC	44	科学館(センター)宣伝事業	4,197	9,169	2.30	A	カ	—	×
5-3	情報NC	45	科学館施設維持管理事業	2,116	3,106	0.60	B	ウ	—	×
5-3	庶務課	487	教育施設整備事業基金積立事業	331,129	840	0.10	B	エ	4	×
5-3	庶務課	488	図書館管理事業	118,457	1,208	0.15	B	ア	—	×
5-3	文化スポーツ課	512	俊成の里短歌大会開催事業	480	3,199	0.50	A	オ	—	×
5-3	文化スポーツ課	513	文化振興事業	2,500	2,502	0.45	B	オ	—	×
5-3	文化スポーツ課	519	市民会館管理運営事業	128,225	2,694	0.60	B	カ	4	○
5-3	博物館	543	博物館施設維持管理事業	19,003	6,752	0.85	B	カ	—	○
5-3	博物館	544	郷土資料の収集保管及び調査研究 事業	1,101	5,265	0.80	B	カ	—	○
5-3	博物館	545	貸しギャラリー運営事業	409	3,469	0.60	B	カ	—	×
5-3	博物館	546	企画展等開催事業	654	5,652	0.90	B	カ	—	×
5-3	博物館	547	文化財保護事業	4,538	5,717	0.85	B	カ	—	○